

関係各位

今後の対応について（中間報告）

2022年11月3日

（2ページ目 11月10日一部訂正）

日本学生自転車競技連盟

2022年10月1日に「事故経過報告書」を公表いたしました。公表に先立ち9月30日に本連盟理事会において今後の対応について議論し、その後に全理事・各委員会より書面で提案・意見を募り、およそ20件の提案・意見を10月中旬までに集めました。毎週水曜日に開催されてきていた大会準備会合を、定期常務理事会として位置付け、今後の対応について検討を積み重ねております。

全理事・各委員会から出された提案・意見の中には、「原因究明」や「検証」に重きを置くべし、というご意見もあります。しかしながら、「究明」や「検証」は一般論として明確なゴールはなく、未来永劫・永遠に続くものと思われれます。今般、現実的に求められているのは、今後の安全性向上に寄与する具体的なアクションに結びつく「考察」と考えられます。（考察にも終点はないと思われれますが）

そうした中で、選手・競技役員を含めた関係者全員の安全に対する意識・知識向上の講習会・研修会は、たとえ今回の事故がなかったとしても、不断の努力としてもともと必要性が認識されているものであり、まずはその分野の実施を早めにはじめていく必要がある、ということでは意見の一致を見ております。

つきましては、別紙のようなかたちで講習会・研修会をスタートすることを予定しております。なお、レース中止に伴ってロード・カテゴリのクラス2から3への降格の心配が選手の皆様の間にあるのではないかと思います。現行、クラス2残留には最低4ポイントが必要ですが、講習会ごとに1～2ポイントを付与することも提案に含まれておりますので、ご確認ください。

以上

加盟校チーム・関係者各位

## 当面の大会開催等について

2022年度 v4c

2022年11月3日 (11月10日一部訂正)

日本学生自転車競技連盟

当面の大会開催等について v2a, v3 で告知しておりましたレース中止に伴うリモート講習会等につきましては、以下の通りといたします。

なお、リモート研修会参加者には RCS ポイント 1 点、実地研修会参加者および E-レース選手権参加者で大会要項に記載の参加条件を満たした者には RCS ポイント 2 点を付与することとします (要参加後アンケート回答)。ただし RCS 昇格はありません。

11/13 (日) 20:00 より

セーフティ・ライド研修会 (リモート形式・競技役員向け)

(参加対象: 審判委員会委員および本連盟競技大会執務審判員等)

11/18 (金) 20:00 より

チーム代表者会議

(参加対象: チーム監督・コーチもしくは主将)

11/20 (日) 19:00 より

セーフティ・ライド研修会 1 (リモート形式「サイクル・クリニック」)

(参加対象: 本連盟加盟校登録選手全員、チーム関係者、学生委員、理事・評議員・委員会委員)

11/27 (日) 13:00 スタート

E-レース選手権大会 長野県木曾郡王滝村御嶽湖周回コース

12/4 (日) 13:00 より 西武園競輪場駐車場 (予定)

セーフティ・ライド研修会 2 (実地形式)

(参加対象: 本連盟加盟校登録選手、チーム関係者、学生委員、理事・評議員・委員会委員)

(12/4 開催予定であった埼玉ラウンドは、埼玉県自転車競技連盟の大会がコースの事情により中止となったため、本連盟 RCS としても中止とします)

12/12 (月) 20:00 より (詳細未定)

セーフティ・ライド研修会 3 (リモート形式)

企業における安全対策事例から考える (仮題)

(参加対象: 本連盟加盟校登録選手、チーム関係者、学生委員、理事・評議員・委員会委員、競技役員)

12/19 (月) 20:00 より (詳細未定)

セーフティ・ライド研修会 4 (リモート形式)

タイヤに関する基礎知識 (仮題)

(参加対象: 本連盟加盟校登録選手、チーム関係者、学生委員、理事・評議員・委員会委員、競技役員)

以上